

ビジーポート函館

2020.8. 池田良穂

お盆休みの直前に函館に行ってきました。津軽海峡フェリーの青函航路に同型姉妹フェリー4隻が勢ぞろいしたので、全船を見るのが主目的でした。同港は、津軽海峡フェリーの5隻のフェリーと青函フェリーの4隻のフェリーが頻繁に出入りするビジーポートです。

空港でレンタカーを借りて、まずは函館山に登りました。台風くずれの低気圧の影響で、天気はあまりよくないとの予報でしたが、山頂に着いた頃に一時的に青空が広がりました。眼下にはナッチャン World と、引退したブルードルフィン2の2隻が停泊しているのが見えました。

さて津軽海峡フェリーのターミナルは、南に向いているので逆光であまりよい写真が撮れないのですが、初日を除くと雲の多い天気でしたので、逆光も少し緩和されて、なんとか見ごたえのある写真を撮ることができました。



函館山からの市街地全景です。



眼下には、函館ドックの岸壁に繋がれているブルードルフィン2の姿が見えました。どこに売却されることになるのでしょうか。



ナッチャン World は、ブルードルフィン2の対岸につながっていました。



函館港のフェリー群。手前から、ナッチャン World、ブルードルフィン 2、奥左手に出港中のブルードルフィンと停泊中のブルーミナスの姿が見えました。



青函フェリーの埠頭にはフェリーが 1 隻停泊しているのが見えました。



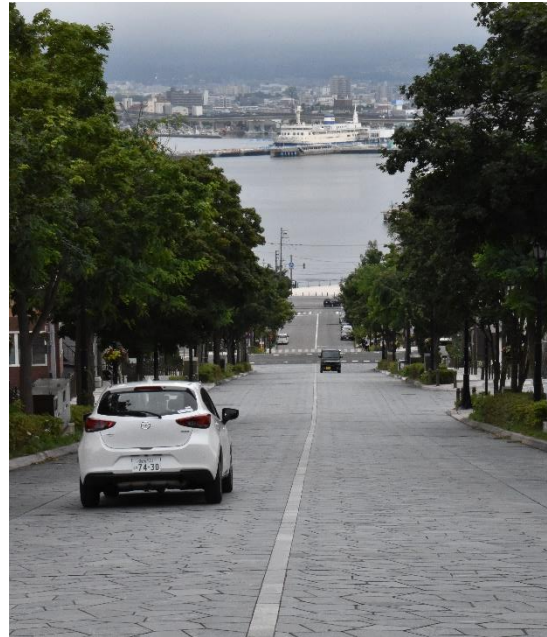
津軽海峡フェリーのターミナルに停泊するブルードルフィン(左)とブルーミナスの姉妹船です。



函館港に入港する「大函丸」。函館と大間を 1 時間半で結びます。



青函連絡船「摩周丸」は博物館として、函館駅の横の棧橋に保存されています。



函館山の麓の元町には港に向かう坂道がたくさんあり、八幡坂からは「摩周丸」が正面に見えます。



津軽海峡フェリーのターミナルの前には、現有フェリー 5 隻が並んだポスターが掲げられていました。「カジュアル・クルーズ」が同社のキャッチフレーズです。

函館港に入港するフェリー群



ブルードルフィン



大函丸



ブルーハピネス



函館港の外で反航する青函フェリーの2隻。あさかぜ21(右)と3号はやぶさ。真ん中に移るのは石灰石運搬船です。



ブルールミナス



3号はやぶさ



ブルーマーメイド



あさかぜ5号



大函丸



あさかぜ21

津軽海峡フェリーの船の顔写真



ブルーハピネス



ブルードルフィン



ブルールミナス



ブルーマーメイド

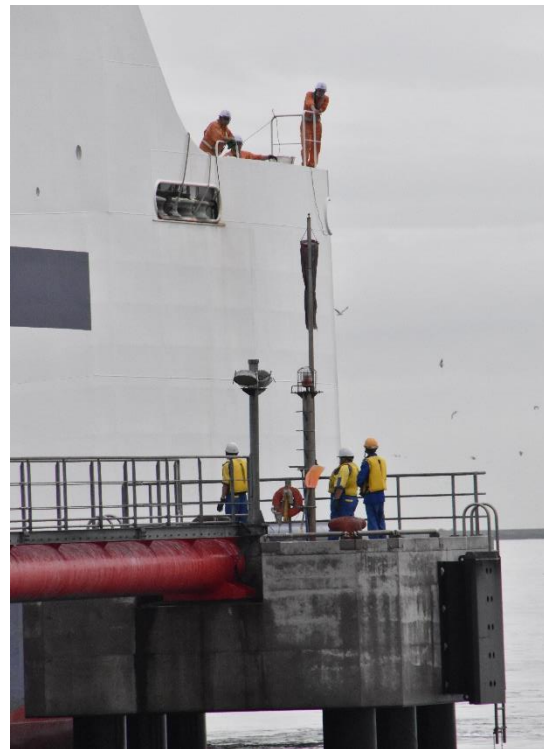


大函丸

港でフェリーの運航を支える人々



着岸と共に乗船して船内の清掃にあたるスタッフ。着岸と同時に乗船して作業をします。



船首と船尾で網取りをする陸上スタッフと、網を下ろす船上の船員を1つのファインダーに収めてみました。

函館港の遊覧船 ブルームーン



金森倉庫前から出港する港内遊覧船「ブルームーン」です。函館港内を一周します。